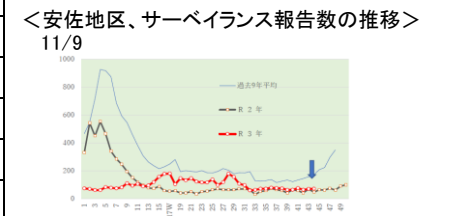


安佐医師会サーベイランス週報 第44週 令和3年 11月 1日(月)～令和3年 11月 7日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
	定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	26		
	対象人口	75,115名	83,974名	38,432名	43,294名	57,093名	63,914名	19,542名	8,518名	389,882名		
	定点数当り人口	18,779名	16,795名	19,216名	21,647名	14,273名	12,783名	9,771名	8,518名			
1 R S ウイルス 感染症												
2 咽頭結膜熱												
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5		10							15	↑	
4 感染性胃腸炎	16	6	3		1	14				40	→	
5 水痘		1	1							2	↑	
6 手足口病	4		1		1					6	↓	
7 伝染性紅斑												
8 突発性発しん	3	2		1	1					7	↑	
9 百日せき												
10 ヘルパンギーナ			2		2					4	↓	
11 流行性耳下腺炎												
12-Aインフルエンザ(A型)												
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎												
15 麻疹												
16 風しん												
17 MCL S (川崎病)												
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎												
21 クラミジア肺炎												
22 その他												
合計	28	9	17	1	5	14				74		

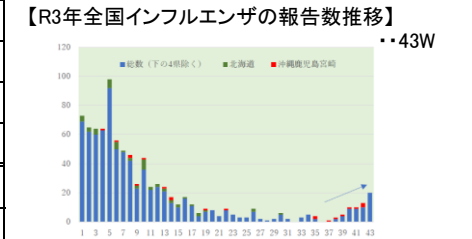
【第44週安佐圏域での各種感染症の動向】
11/1～11/7
1. RSウイルス感染症:0→0件
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:7→15件 **増加しつつある**
4. 感染性胃腸炎:40→40件
6. 手足口病:10→6件...低下
10. ヘルパンギーナ:5→4件
13. 流行性角結膜炎:3→0件



・報告数、昨年と同じレベル!



・溶連菌2週連続増加



・さらに、じわり増加か?

<今夏、インドやバングラデシュで小流行!>
日本感染症学会は、「昨年インフルが少なく、集団免疫が形成されていない上に、国際的な人の移動制限が緩和されると、海外からウイルスが持ち込まれ大きな流行を起こすこともあり得る」と予測しています。

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「**イトコール**」安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!
【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】